



めざせ! ^{みず}水アーティスト

マープリングに^{ちようせん}挑戦!

マープリングとは伝統的な画法で「墨流し」とも呼ばれます。水の表面張力を利用し、水面に浮かべた絵の具を紙に写し取る技法で、描かれる模様は繊細かつ大胆で神秘的なものです。コースター、ラッピングペーパーなど色々なものを作ってみよう!

用意するもの

染める紙、直径 15 センチぐらいの皿など浅い容器、古新聞、マープリング絵の具（市販の物）、絵の具を入れる容器（パレットなどが便利）、ふで



よく洗った容器に、深さ 3cm 程度の水を張ります



インクを筆に含ませて水面に触れます



色を変えて同じように色を落とします



色がついているところに色を落とすと年輪状になります



水面にできた模様に側面から波立たないように静かに息を吹きかけると、色が混ざり合って模様ができてきます



模様をつける紙を、水面との間に空気が入らないように注意しながら静かに下ろします



紙全体に水が染み渡れば、ゆっくり引き上げます



吸水性のよい新聞紙などの上に置き、水分を取れば完成!



完成後は、厚紙などに貼り付けてコースターとして使うこともできます

今回のふしぎワード

表面張力(ひょうめんちようりょく)

葉っぱについた朝露が丸くなっているように、液体が表面積を縮めようと、球になる力のことです。マープリングで絵の具や墨などが水に浮くのも表面張力の原理によるものです。